



# Check!

トンネル、山越え、橋の下を通過。「浦添を通るゆいレール」は一味違う!

CHECK 1

## 新たなまちの名物に

石嶺駅から経塚駅へのルートは山が削られ新たに交差点が誕生。従来の道は橋梁が整備され、ゆいレールの走行する様子が真上から望める新たな展望スポットに。那覇と浦添を結ぶ路線は、まちに新しい風を運んでくれます。



撮影ポイントまちがいなし。石嶺駅からやってくるゆいレールを想像するとワクワクが止まりません。写真好きは要チェック!

CHECK 2

## 延長ルートには約600mもの地下空間

西原町へと向かう県道 38 号線には、浦添消防署付近から全国でも珍しい巨大なトンネルが誕生。この地下区間は、前田駅からだこ浦西駅間の高低差を解消するために設置され、トンネルを抜けると終着駅はもう間近。



それまで見下ろしていた風景から徐々に地面へと近づき、暗いトンネルへ。ゆいレール初のトンネルを体験するために、全国から鉄道ファンが訪れるかもしれません。

CHECK 3

## 交通のアンサンプル拠点パークアンドライド

県道の新設に伴い周辺部は大きく姿を変えようとしています。パーク&ライドの拠点となり、沖縄自動車道には新たにインターチェンジが設けられます。また、周辺には大型商業施設等の建設も予定されています。



パーク&ライド駐車場は、地上階は浦添市道、最上階は県道宜野湾南風原線につながります。

“ゆいレール”に期待できること。

### 時間を短縮し定時・定速で走行

交通渋滞の影響を受けず、定時・定速で運行される那覇市内、空港への移動がスムーズになります。

### 交通渋滞を緩和

公共交通への転換によって、交通渋滞が減り、時間短縮をもたらします。また、交通事故や排気ガスの減少により安心・安全なまちづくりにつながります。

### 沿線地域の発展

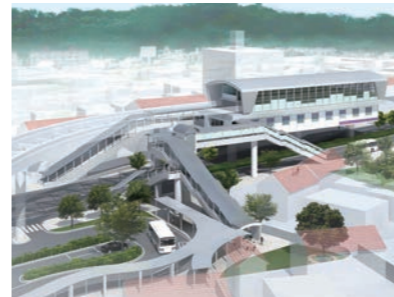
駅が交通の要としてまちづくりの核となります。また、土地の有効活用で市街地整備を促進し、地域の活性化に寄与します。

### バスやタクシーへの乗り換えが便利

主要な駅を軸としてバスやタクシーなどと連携することにより、市内の移動時間を短縮し、利用者の利便性・快適性を向上します。



# Station ゆいレール×浦添、これからどんな街になっていくかワクワク♪



駅前には広場が整備され、路線バスやタクシーからゆいレールへの乗り継ぎがスムーズに。国史跡に指定されている浦添城跡の最寄駅となるため、首里城から来る観光客の利用も想定されます。

■乗客客数/1日あたり 約2,600人(見込み)



ゆいレールの新しい終着駅。付近にはパーク&ライド駐車場が整備され、沖縄自動車道とのリンクによる交通アクセスの拠点に。周辺部では区画整理事業も計画され新しい街が姿を現そうとしています。

■乗客客数/1日あたり 約3,300人(見込み)

## 浦添前田駅 Urasoe Maeda Station

## てだこ浦西駅 Telako Uranishi Station



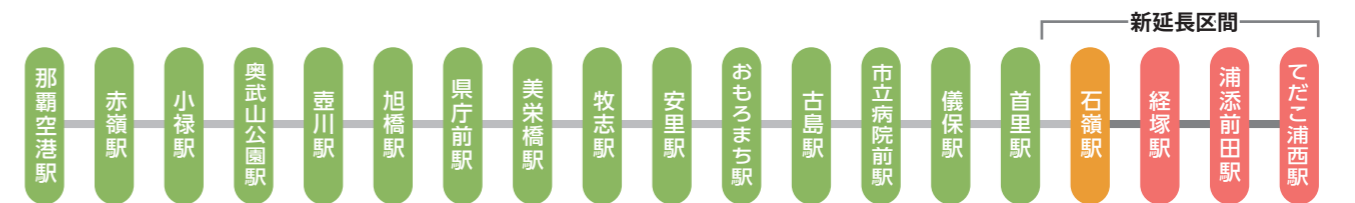
## 経塚駅 Kyoduka Station

徒歩圏内に大型ショッピングセンターがあり、帰宅時の買い物も便利。付近には公園や緑も多く、子どもたちとゆったりとした休日を楽しめるエリアとなっています。

■乗客客数/1日あたり 約2,600人(見込み)



## 新3駅が浦添に! 2019年開業予定!



那覇空港まで約38分!

※パース、地図などは実際と異なる場合があります。